



江工関東遊歩クラブの皆様へ

幹事A40 河野 一史

E47 千代延 武

“新緑の中、ツツジ咲く高原を歩く”

報告

前橋駅よりバスで70分新坂平に降立ち、寒いので上着を羽織、出発地の白樺牧場一帯の10万本のレンゲツツジは4分咲、見晴山に登り昼食、食後山頂付近のツツジを見学、記念撮影を撮ろうとしたらカメラが不調で断念、下山して新緑の白樺林の小路に点在する歌碑の文字を読みながら覚満淵へ空は高く新緑に山は川面に映り木道を辿り30分で一周、小笹の道を歩いて赤城大沼へ赤い橋を渡り赤城神社に参拝して、湖畔一周の散歩道を北西の寒風にむかって歩き60分で宿に到着、お風呂で温まり、山野湖の幸で地酒を冷と爛で飲み干し締めにおじやを鱈腹食べ寝床には電気マットが敷込んで有りホカホカ熟睡出来ました。

翌朝は昨夜からの北風が吹き荒れ気温6℃窓の先の大沼は波高し、温かい味噌汁と朝食をいただき、防寒対策して出発、地蔵岳登山道は勾配のきつい直線で対象の大小の石がゴロゴロかなり苦戦何とか60分で山頂へ赤城の山々の大パノラマに感激しました。八丁峠より小沼へエメラルドグリーン湖面に岸边に咲くムラサキヤシオ、白ヤシオ、アカネヤシオが美しい、ひと登りして長七郎山へ、山頂からは桐生方面と日光方面の展望を眺め、鳥居峠に下ると北風が吹き荒れ気温9℃と寒い昨日一周した覚満湖の木道を逆方向よりビジターセンターに到着昼食をとり展示場にて赤城の自然と歴史を学びバスを待ちました。



参加者：島田(M34)福間(P35)岸(C37)河野(A40)鍛冶(A47)千代延(E47)

H29. 6. 3